

氷見市自治体基本条例検討委員会での論点メモ

○メモの目的

これまでの議論の論点を集約し、委員会として条例のすがたをおおまかに特定することをめざす。→29日に、その「委員会として描く条例のおおまかなすがた」と「これまで出された個人の意見」比較し、「個人の意見」から「委員会の意見」を抽出する。

○論点と議論のふりかえり

以下は、土山が委員として「議論して共感を見出された内容」と感じているものを論点ごとに整理して示したものです。土山の整理が適切でない可能性もあり、条例にしていく場合に確認したい点を積極的に示しています。ご議論いただければと思います。

●条例の目的について

語弊がある表現ですが、「たとえ誰が氷見市長になっても、どんな議会が構成されても、「これを守って氷見市を運営してくれれば大丈夫」という自治体運営の基本原則としくみ」をつくること、と共有されたと考えています。

Q. 上記を言い換えると「いまもこれからも氷見市政の運営にかかわるものが遵守すべき市政運営の基本方針と原則」でよいでしょうか？

◎決定事項

- ・上記のとおりでよい。
- ・最高規範性という言葉を使うかどうかは今後検討する。
- ・基本条例という名前にふさわしい重みのある議論をしていく。
- ・条例の目的は上記の書き方にしておき、市長のあり方や議員のあり方などに、そのときの市民の思いを無視できないように書く。

★補足事項

- ・必要な場合には通常の条例と同様に改正をするが、長い目線で大事にしていきたい。

◆意見

- ・市政（自治体）運営という表現を避け（オブラートに包む）、高尚な表現としてはどうか。[北委員]
- ・あいまいにするとわからなくなるのでは。[屋敷(宗)委員]
- ・自治体だけをターゲットにしない[北委員]

- ・行政を縛るだけでなく、市民の役割についても入れてはどうか。[高野委員]
- ・目的は簡潔に、シンプルに記載する。[谷原委員]
- ・もう少し時間を割いて議論をしてはどうか。[北委員]

Q. 自治基本条例には「前文」がつくことが多いです。前文については山崎議員のコメントがありますが、条例の基盤になる思いが描かれる部分ですので、条例の目的をふまえながら今後検討するということによいでしょうか。

◎決定事項

- ・キーワードなどは出ていたが、今後検討をする。

◆意見

- ・趣旨を高尚な文章でまとめる。[谷原委員]

●議会と首長の関係のありかた（市民から見て）

多くのかたが語られた論点でした。

市民から見て、互いの関係性だけに埋没するのではなく、「よい緊張関係」であってほしい。二代表制のもとで、それぞれの役割（仕事）を市民に向けて果たし、緊張かつ相手を尊重する関係の構築を、という趣旨に多くの意見がまとめられうるのでは。

Q. 議会と市長の関係について、現状を念頭に検討すると、条例の「目的」にそぐわなくなるのでは。上記のような記述だとある意味「当たり前のこと」だが、基本ルールはそういうものともいえる。このような記述でよいか。

◎決定事項

- ・お互い市民の代表として、相手に対する尊重や役割を果たすというような表現で書く。

●議会のありかたについて

氷見市の議事機関として、市民にひらかれた議会運営を期待する。

Q. 前項と同じような内容ですが、これ以上詳しく書くなら議会基本条例もありえます（市民の声や反応（ブーイング！）を伝えるしくみに近いものとして、議会モニター制度を想像しました。議会基本条例でそれを書く議会も）。とはいえ議会基本条例を作ることに言及するべきかどうか。むしろ議会にかかる部分は当事者に任せ、行政にかかわる部分だけの条例にしてはどうかという問いかけもありました。

◎決定事項

- ・議会基本条例を作ることについては、当事者に委ねるものであるが希望があることを記す。
- ・市民のほうを向き、耳を傾ける、ということを丁寧を書く。

●氷見市長のありかたについて（提言書から抽出。省略）

Q. 提言書の内容に比べ、職員との対話や職員にたいするトップとしての監督責任？も指摘されていたが、書くべき？

◎決定事項

- ・市長のあり方に関する提言書の中から内容を基本条例に戻していく。
- ・組織の中でも対話と情報共有をはかることを記す。

◆意見

- ・市民や職員の話をしっかり聞いてほしい。【山崎委員】

●職員のありかた

その職務に求められる専門性を磨くこと。地域の課題には多様な主体との連携が求められることから、職員間、職員と市民間との連携を進めるよう務めること。市民の声に耳を傾け、連携するよう務める。

◎決定事項

- ・専門性を磨く、多様な市民や企業など多様な人たちとの連携が必要になってくる、耳を傾けるということを丁寧を書く。

●参加と情報公開のありかた

早い段階から（政策だと、課題の特定→解決案の模索→決定→実施→評価という過程ぜんぶに市民参加をしよう）、多様な手段で、市政に参加する。市は、市民参加の機会が実りある意見交換や対話の機会になるように務める。

積極的な情報公開、わかりやすい情報の整理、市民との情報共有をすすめる。

◎決定事項

- ・早い段階から多様な手段で市民が市政に参加することを強調する。

Q. 多様な主体の参加をすすめるために、市民参加推進条例は必要か。どんな内容が書かれるべきか。

◎決定事項

- ・市民参加推進条例について現段階では書くという状態にはない。

Q. 市政にたいする緊急の問題提起として、住民投票制度をどうするかは議論されていない。今後の課題の一つではないか。

◎決定事項

- ・住民投票制度は、今後検討する。

●行財政運営のありかた

ムダづかいをしない、という声や指摘は多いですが、何がムダなのか、それをどう防ぐのかは書き方が難しいところです。

そこで、「計画的な資源配分を行うこと」、「政策の効果を向上をめざすこと」、を確認し、「財政に関する情報の整理・公開」といった方針で、「ムダ」の一部制御が可能ではないでしょうか。

Q. 総合計画をどのくらいしっかり書くか。市の施策や事業は総合計画に基づくものとするまで書くのは難しいか。

◎決定事項

- ・総合計画をしっかりつくるよう書く。

Q. 財政支出規律について、条例をもっている自治体もあるが、今後検討の余地ありか。

◎決定事項

- ・書く可能性がある。

◆意見

- ・支出ばかりでなく収入のことも考えるべきでは。[北委員]

Q. 書くべき内容について確定していくには、行政内部からの問題提起目線から語ってもらうことが必要であり、4月以降職員さん自身からうかがうのはどうか。

◎決定事項

- ・4月以降、職員自身から話を伺う機会を設ける。
- ・現場の意見を聞くことをPRする。

●市民の自治と市のありかた

地域や市民団体と市のありかたについては、地域づくり協議会、補助金の出し方、女

性や障がいをもつひとびとの参画など、多くの点が指摘された。宛て職のかたの選出依頼方法などの改善もここか。

防災計画など危機管理もここに書かれるべき。

◆意見

- ・「防災計画をつくる」というのは適当な言葉ではない。【屋敷(宗)委員】

Q. 基本条例には、地域や市民活動は自治の話として、「自治体として地域団体や市民団体とどのような関係にあるか」といった整理にとどめる？

◎決定事項

- ・自治体として地域団体や市民団体の活動を整理するというような書き方とする。

これらの点を整理してみてはいかがでしょう。

以上です。